

# 輝け！シン尾花沢中

伸びよとさそう 常若の ああ尾花沢中学校

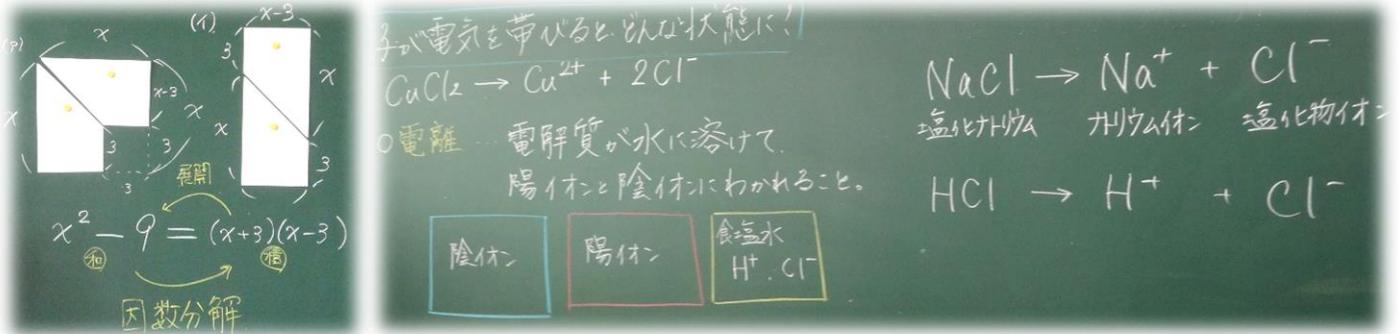
タイトルデザイン  
教育指導室  
伊藤瑞稀さん

## 「自主学習ノート」による学習①～板書撮影による復習～

今回は「自主学習ノート」による学習の提案として、**タブレットを使った板書撮影による復習**を紹介いたします。

生徒の皆さんにとって「授業は、黒板に記載された授業内容をノートやプリントに書き写し（視写）ながら進めていく」イメージがあると思います。

板書は、生徒と教師とで創り上げるその時間の学習の軌跡を示した貴重な資料です。



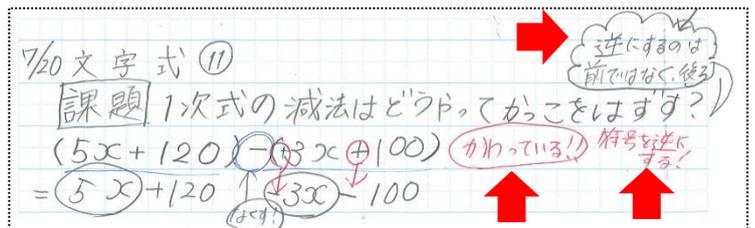
しかし、**貴重な資料とはあまり意識されないまま、次の授業のために消されてしまいます。**

- ▲「思考を働かせずただ視写するだけになり、理解につながらない」
- ▲「きれいにノートをまとめることに力が入りすぎて、理解につながらない」
- ▲「先生の書くスピードについていけず、書こうと思った箇所が消されてしまった」

などの生徒の声も聞こえてきます。

そこで、1人1台端末、いわゆるタブレットの出番です。授業終了後に、タブレットで板書を撮影し、板書の画像を家庭に持ち帰ります。家庭学習でタブレットの画像を見ながら、時間をかけて自主学習ノートに視写していきます。

しかし、ここでも思考を働かせずに視写しては、あまり意味がありません。ポイントは、視写しながら浮かんでくる気づいたことや疑問を、空いている箇所にどんどん



メモしていくことです。自分で考えたことが一目見て分かるように色別にしてメモするとよいでしょう。こうすることで世界に一つだけのオリジナルノートを創ることができ、テスト前に見返した時の自分だけの参考書にもなります。

実は、この学習法は、東京学芸大学附属竹早中学校での実践を参考にしました。竹早中学校では「タブレットで撮影した板書の画像で、家族に授業内容を説明する」という宿題を課していました。尾中生も参考にしてみてください。

【文責：校長 工藤雅史】